

# 原料、製法、意匠性で差別化

## 不織布使いの新素材

滝 善

滝善（愛知県一宮市）は不織布を使った新素材「キエラスリットヤーン」を提案する。不織布ならではの多彩な特徴を備える。イタリア開催の糸・ニット展示会でも好評だった。

キエラウの不織布をらり、幅にカットしたものを撚らずにそのまま糸として使った。撚りをかけると風合い

が固くなるため。壁量感や光沢感のほか、わらのような見た目に紙のような質感が特徴だ。

不織布使いでは、秋冬衣



わらのような見た目が特徴

料向けにナイロンの不織布の糸を展開していたが、春夏向けに新たに開発した。20色を備蓄展開しており、染色はグループの市川染工（新潟県五泉市）が手掛けた。

同社は1月末、イタリアであった素材展「ビッティ・フィラティ」へ出展。見たことのない素材として来場者から評価が高く、新素材が一番人気だった。

全体では200点並べる。編み地や製品、糸を展示する。